

月	単元・学習内容		評価規準（到達目標）	観点別評価			評価方法	
	年 度 始 休 業			ア	イ	ウ		
4	第1単元 現代社会と健康						★すべての章・項目において次のように評価する。 ◆アの観点では、主に2回の定期考査と「授業中の小テスト」において評価する。 ◆イとウの観点では、「授業中の取り組み」が主で評価する。	
	2	1 健康の考え方と成り立ち	◇様々な健康の考え方について例をあげて説明できる。 ◇健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。	○	○	○		
	1	2 私たちの健康のすがた	◇わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ◇わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。	○	○	○		
5	1	3 生活習慣病の予防と回復	◇生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ◇生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。	○	○	○		
	1	4 がんの原因と予防	◇がんの種類や原因について説明できる。 ◇がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。	○	○	○		
	1	5 がんの治療と回復	◇がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ◇がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。	○	○	○		
6	前期中間考査(保健は実施しない)							
7	1	6 運動と健康	◇健康と運動の関係について説明できる。 ◇目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる。	○	○	○		
	2	7 食事と健康	◇食事と健康の関係について説明できる。 ◇健康的な食事のとり方について説明できる。	○	○	○		
	夏 季 休 業							
8	2	8 休養・睡眠と健康	◇健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。 ◇健康と睡眠の関係及び健康に良い睡眠のとり方について説明できる。	○	○	○		
	2	9 喫煙と健康	◇喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ◇喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。	○	○	○		
	2	10 飲酒と健康	◇飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 ◇飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例あげて説明できる。	○	○	○		
	2	11 薬物乱用と健康	◇薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 ◇薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができる。	○	○	○		
9	1	前期期末考査			○			
18 【前期の反省】 【学習への取り組み状況】								
【 4 3 2 1 】								
	1	12 精神疾患の特徴	◇精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 ◇現代社会における精神保健の課題をあげることができる。	○	○	○		

10	1	13 精神疾患の予防	◇精神疾患を予防する方法について説明できる。 ◇精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。				
	1	14 精神疾患からの回復	◇精神疾患の治療について例をあげて説明できる。 ◇精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。				
11	2	15 現代の感染症	◇感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 ◇新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。				
	後期中間考査(保健は実施しない)						
12	1	16 感染症の予防	◇感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 ◇感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。				
	1	17 性感染症・エイズとその予防	◇性感染症・エイズが他の感染症と異なる点について説明できる。 ◇性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。				
	1	18 健康に関する意志決定・行動選択	◇意志決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 ◇健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。				
	1	19 健康に関する環境づくり	◇社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。 ◇ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。				
第2単元 安全な社会生活							
1	2	1 事故の現状と発生要因	◇事故の実態と被害の実態について説明できる。 ◇事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。				
	冬 季 休 業						
1	1	2 安全な社会の形成	◇安全ために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 ◇すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。				
	1	3 交通における安全	◇交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 ◇交通事故における責任を3つに分けて説明できる。				
	1	4 応急手当の意義とその基本	◇応急手当の意義について説明できる。 ◇傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。				
2	1	5 日常的な応急手当	◇日常的なケガや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。 ◇実際に、日常的なケガや熱中症の応急手当ができる。				
	1	後期期末考査					
3	1	6 心肺蘇生法	◇心肺蘇生法の手順について説明できる。 ◇実際に、心肺蘇生法を行うことができる。				
【1年間の反省】				【学習への取り組み状況】			
35				【 4 3 2 1 】			

※学習への取組状況 4：大変良くできた 3：だいたいできた 2：あまりできなかった 1：まったくできなかった